

様式37 総括整理表\_保護林

調査年度：平成29年度

総括整理表

保護林名	にほへ森林生態系保護地域	写真1 調査プロット1 周辺	写真2 鳥類調査ルート入り口 付近	写真3 調査プロット3 ブナ・スズクエ群落
管轄森林管理局・署名	九州森林管理局  にほへ森林管理署	写真1 調査プロット1 周辺	写真2 鳥類調査ルート入り口 付近	写真3 調査プロット3 ブナ・スズクエ群落
所在地	ちりぬ県(武田市、小野市、青木市)	写真1 調査プロット1 周辺	写真2 鳥類調査ルート入り口 付近	写真3 調査プロット3 ブナ・スズクエ群落
面積	5,000ha(保存地区:3,000ha、保全利用地区:2,000ha)	写真1 調査プロット1 周辺	写真2 鳥類調査ルート入り口 付近	写真3 調査プロット3 ブナ・スズクエ群落
設定・変更年	平成8年4月	写真1 調査プロット1 周辺	写真2 鳥類調査ルート入り口 付近	写真3 調査プロット3 ブナ・スズクエ群落
保護林種別	保護林種別写真	保護林の概要等	過去のモニタリング実施概況	
保護林の概要 (設定目的)	本保護地域は、ちりぬ県南西部の武田市、小野市、青木市にまたがり、武田川、南川、東川の上流部に位置している。地形は急峻で、地質は、砂岩、粘板岩、チャート等を基岩とした中生層から成っている。林相は、標高1,000m以上の山地帯には日本暖帯常緑樹の冷温帯常緑樹の雑相であるブナ林がみられ、標高700～1,000m付近にはアサギシ、カラジロシ、シダの常緑広葉樹林がみられる。本地域には、特別天然記念物のニホンカモシカ、河川には、産卵された天然記念物のイワナやマゴモも見られる。	保護林の概要等	過去のモニタリング実施概況	
モニタリング実施期間	5年	保護林(水源涵養・保水・土砂流出防備) にほへ県立自然公園(特保・特2)、にほへ県立自然公園(普通)、 交野名勝天然記念物、鳥獣保護区(特別保護、普通)	過去のモニタリング実施概況	
法令等に基づく指定概況			過去のモニタリング実施概況	
調査項目	調査手法	結果概要	調査実施項目・回数 (調査実施項目・調査手法含む)	実施時期・回数
森林タイプの分布等状況	資料調査	森林調査源の作成年度(森林計画樹立年度)は平成27年4月、ArcGISのジオメトリ演算機能を使用し、森林の分布に特に大きな変化は思われなかった。	過去のモニタリング調査(平成19年、平成24年) 森林生態系多様性基礎調査(平成22年、平成27年)	
樹木の生育状況	資料調査/森林詳細調査	高木層にブナ、ホオノキ、ヒメシャラ、シロダモ、ツガ、アカガシ、重高木、低木層にホオノキ、ブナ、タンナサワフタギ、ヒメシャラ、ツガ、リョウブ、ネジキ、アセビ、ツグノコハバミミツバツツジ、スズクエ、シキミ、ツガがみられ、草本層にはスズクエ、シキミ、ハイノキ、アセビがみられる。一部地域で、シカによるスズクエの被害が顕著に認められた。また、ナラ枯れ被害についてはほとんど認められなかった。		
下層樹生の生育状況	資料調査/森林詳細調査	5年前の調査結果と比較して、特にスズクエが消失した。調査プロット37箇所のうち、過去スズクエが生育していた箇所も全面的に消失しているプロットが2つ、植生回復の遅いプロットが3箇所認められた。シカの影響により後継樹種はほとんど確認できない状況であった。		
野生動物の生息状況	資料調査/動物調査	動物調査は、自動撮影カメラによる中・大型哺乳類調査と、スポットセンサスによる鳥類調査を実施した。哺乳類では、ニホンカモシカ、イノシシ、タヌキ、ホンドアメン等の中・大型哺乳類の生息が確認された。鳥類調査では、本保護林で特徴的な種であるコマドリ、ホシガラス等の、本州では亜高山性の森林環境に生息する種が確認された。		
論文等発表状況	資料調査	前回調査以降、本保護林を対象に含む論文が新たに発表されている。		
事業・取組実績、遊歩実施状況等	聞き取り調査	いちいちにほへ(2014)「森林土壌の花粉分析による哺乳動物の侵入」ちりぬ大学大学院森林科学科修士論文(未公開) いちいちにほへ(2012)「写真調査による近年の樹生高変化の還元」ぬり研究報告(2012.6)		
※行なわなかった調査項目・記載事項の無い項目は非表示とする。総括整理表に収まらない情報等については別紙として添付。				

概ね良好に保護、管理されているとの結果になっている。  
特に、前回の調査で確認されたナラ枯れ被害については、ほとんど見られなくなり、良好に管理されていると考えられる。  
一方で、シカ被害については、引き続き植生防護ネット等による対策に加えて、今後はいちいちにほへの個体数調整にも取り組む必要がある。

様式38 総括整理表\_緑の回廊

調査年度：平成29年度

総括整理表

緑の回廊名	にほへ緑の回廊
管轄森林管理局・署名	九州森林管理局  にほへ森林管理署
所在地	ちりぬ県(武田市、小野市、青木市)
面積	20,000ha
設定・変更年	平成8年4月

写真1 調査プロット1 周辺	写真2 鳥類調査ルート入り口 付近	写真3 調査プロット3 ブナ・スズクエ群落
-------------------	-------------------------	-----------------------------

緑の回廊概況写真	緑の回廊の概要等
----------	----------

緑の回廊の概要 (設定目的)	結果概要	実施時期・回数
-------------------	------	---------

法令等に基づく指定概況	結果概要
-------------	------

調査項目(例)	調査手法
---------	------

森林タイプの分布等状況	資料調査
-------------	------

樹種の分布状況	リモートセンシング
---------	-----------

樹木の生育状況	資料調査／森林概況調査
---------	-------------

野生生物の生息状況	資料調査／動物調査
-----------	-----------

森林環境教育の場としての利用状況	資料調査
------------------	------

普及啓蒙の実績、巡視の実施状況	聞き取り調査
-----------------	--------

※行なわなかった調査項目、記載事項の無い欄は非表示とする。総括整理表に収まらない情報等については別紙として添付。

評価・課題等	連結する保護林で保護されている種が緑の回廊においても確認されたことから、本緑の回廊は設定の目的を發揮していると考えられる。人工林を中心に確認されたシカ被害については、緑の回廊内に調査プロットが設定されている森林生態系多様性基礎調査の結果等も含め、引き続きその経過を調査する必要がある。
--------	--